令和４年度　第２学年　学級経営案

学　校　教　育　目　標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く徳・知・体の調和のとれた児童の育成

【かしこく】進んで学び、よく考える児童

【なかよく】思いやりをもち、助け合う児童

【元気よく】礼儀正しく、ねばり強い児童

学　級　目　標

「カラフル　みんなちがってみんないい」

・みんななかよくたすけあうクラス　・元気いっぱいえがおキラキラかがやくクラス

〇何事にも意欲的に取り組み、自分の考えを積極的に表現できる児童の育成（知）

〇思いやりの気持ちをもち、一人一人の個性を認め合うことのできる児童の育成（徳）

〇礼儀正しく生活し、何事にも最後まで努力することのできる児童の育成（体）

具体的な取組		評価		
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
かしこく	1　毎日、日記を書き、文章を書く力を定着できるようにする。			
	2　漢字ノートに毎日取り組みながら、漢字の読み書きができるようにする。			
	3　マス計算に取り組み、計算の基礎力を高めるようにする。			
	4　ICTの活用と板書の工夫を行い、視覚的にわかりやすくすることで、学習への意欲を高める。			
	5　学習への態度、話の聞き方、発表の仕方を徹底して指導する。			
	6　自分で振り返って見やすいノートにするために、ノート指導を行う。			
	7　「個に応じた家庭学習」の充実を図り、家庭学習の習慣の定着、学力の定着に努める。			
なかよく	1　子どもたち同士で呼び捨てをしないようにする。			
	2　道徳の授業において、つねに自分を振り返ることのできる場を設ける。			
	3　月に１度の学校アンケートを活用し、いじめの早期発見、未然防止に努める。			
	4　帰りの会に「きらりさん」を行い、子どもたちの自己肯定感を高める。			
元気よく	1　天気の良い日は外遊びを推奨する。			
	2　体育の授業では、毎回５分程のランニングの時間を設け、体力の向上につなげる。			
	3　早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムの実態を把握し、適宜、声掛けをする。			
郷土愛	1　生活科の授業を通して、湯前町について関心を持つことができるようにする。			
	2　いきいき交流会を通して、地域とのつながりを意識することができるようにする。			
	3　小中連携や地域の方との交流を通して、交流する際の礼儀を指導する。			
学期評価（達成状況　達成←　４、３、２、１　→未達成）				